

プロフィール

*PROFILE*  
*JAPANESE*

**ERNOE**

**ROZSA**

**Violinist**



OFFICIAL INTERNET-WEBSITE (WITH MUSIC DEMOS FROM  
NICCOLO PAGANINI - THE CAPRICES - TCHAIKOWSKY - SWAN  
LAKE SOLOS - MOZART CONC. 5 A-MAJOR WITH CADENZA:

**[www.ernoerozsa.com](http://www.ernoerozsa.com)**

**Ernö Rózsa**

**Violinist**

**----- WORLDWIDE RADIO BROADCASTINGS**

**OF**

**HIS PAGANINI CONCERTOS 3-4 -CD (NAXOS**

**LTD.) BY**

**BROADCASTCOMPANIES IN**

**EUROPE, AMERICA, AUSTRALIA, ASIA etc.:**

<http://www.abc.net.au/classic/daily/stories/s376979.htm>

<http://www.dpr.org/dprplaylist/events.asp?date=3%2F1%2F2007>

<http://www.slovakradio.sk/>

**ERNOE**

**ROZSA**

**Violinist**

**25/07/07**

Telephone Japan:

0081-90-50598408

0081-90-85244064

Fax Japan: 0787-938221

Email: [paganini888@docomo.ne.jp](mailto:paganini888@docomo.ne.jp)

Internet-Email:

[rozsavirtuoso@yahoo.de](mailto:rozsavirtuoso@yahoo.de)

バイオリニスト

氏名：エルノ ローザ  
生命月日：1970年4月18日  
出生地：ニュー マークト, ハンガリー  
国籍：ドイツ

----- CONCERTMASTER OF  
THE ROYAL PHILHARMONIC IN LIVERPOOL, ENGLAND 03 -  
----- CONCERTMASTER OF THE HYOGO PERFORMING ARTS CENTER SYMPHONY  
ORCHESTRA, KOBE, JAPAN 05-06 -  
----- CONCERTMASTER OF  
THE STATE PHILHARMONIC OF MACAO, CHINA 06 -  
----- GUEST PLAYER IN THE  
KANSAI PHILHARMONIC ORCHESTRA, JAPAN 06 -  
----- LEADER AND SOLOIST OF THE ERNOE ROZSA STRING QUARTETT AND OTHER CHAMBER  
ENSEMBLES (PIANO DUO AND TRIO) - IN  
OSAKA, KOBE, NAGOYA,  
SHIGA, JAPAN -

#### 就業経歴

1973 - 1983 ルーマニアの ティグル ムーレスにて  
ルーマニア国立フィルハーモニーでの 1982年 創立以来  
長期に渡り コンサート マイスター 及び ソリストとして 旧  
西ドイツ マールのフンガリカフィルハーモニーの PH.  
代表演奏者 第1コンサート マスターとして活躍した父親,  
エルネスト ローザにての 個人レッスン

1983 - 1985 デトモルト音楽大学の卓越者 ティボー バルガー氏 及び シオン氏  
(スイス) ニューヨーク出身のルギエロリッチ教授の各氏に師事

1985 - 1993 デュッセルドルフ市 ローベルト シュウマン音楽大学 マスタークラス  
ローザ ファイン教授に師事

1995 - 1996 エッセン市 フォルクバング音楽大学の 熟練者  
ミンチョ ミンチェフ教授に師事

## 職業経歴

2004年1月下旬より 2月下旬に渡る 最近の 特別任務

2005年8月より 2006年10月

日本 兵庫県立芸術文化センターにて

第1コンサート マイスター (リーダー)

及び 第3コンサート マイスターとして 活躍

(世界各国からの 1000人 志願者中 勝利合格)

2004年 12月

蘭国にて 各市 (ツボレ, エンシェデ, ユートレヒト) に於いての

オランダ フィルハーモニー 楽団で ヤン ファン ツエーデンとの

オーケストラ演奏旅行

オーケストラでの経験

1996年 初期から 中期に渡り マールに於いてフンガリカフィルハーモニーでの

第1 バイオリン奏者契約団員

この際の 評判成績 同封

英国にて ロイヤル リバプール フィルハーモニー オーケストラにて

コンサートマイスター (リーダー) として ゲストでの 活役

フランスのピアニスト ミヒャエル ダルベルト伴奏での

名声なるアレキサンダー ポリアニチコ指揮者のもとに

コンサート マスターとして参加

コンサートのプログラム . . . . .

ハイドン - ロンドン シンフォニー

モーツァート - ピアノ コンツェルトス Nr.14 & Nr. 2 3

リムスキー コルサコフス - 透明なる街 キテスの由来伝説 (スイート)

ストラビンスキー - 風の楽器の シンフォニー

リムスキー コルサコフス - 偉大なるロシアの前奏曲 (バイオリン ソロ)

ボロダン, “プリンス イゴー 前奏曲

ストラビンスキー - プサムルスのシンフォニー

ボロダン - ポロベチアン ダンス

(讚美歌的コンサアト バージョン)

現在に至るまでの オーケストラ経験

: 2004年12月以降 2005年9月に渡っての オーケストラでの 現役経験

: 1996年 秋口から冬に渡りドルトムントでの

: 国立援助カンマーオーケストラで コンサートマスター任務

: 1992年春先 フォルツハイムにて カンマー オーケストラでの 臨時任務

: 1999年以来 ドイツにて の 諸市での オーケストラ 臨時演奏参加

: 3年前以来 ライン-ルール州での有名な シンフォニー オーケストラ 祝賀祭、及び

: ヨーロッパクラシック・フェスティバルにて 通常ゲスト会員任務

演奏コンテスト試験での 最終勝利選抜合格 下記

ロンドン フィルハーモニー オーケストラ (代理コンサートマイスター)

第二ラウンド- (モウツート, ロマンチック-コンサート)

(パガニニ4番カデンツァ) - 及び 数々のオーケストラ (ソロ)

ビルバオ フィルハーモニー オーケストラ

(第2バイオリン 主席奏者)

ファロ チェンバー オーケストラ

(ポルトガル, コンサートマスター)

英国 ロイヤル リバプール フィルハーモニー オーケストラ

(ゲストコンサートマスター)

独国 フンガリカフィルハーモニー

ライプチヒ ゲバントハウス オーケストラ

(コンサート マスター)

蘭国 シンフォニー オーケストラ (第2バイオリン 主席)

現在に至るまでの 合格試験 及び 授賞経験

ドイツでの 数あるオーケストラ 及び オペラハウスでの オーケストラ演奏旅行

臨時参加としての 豊富なる経験

幼少時でのデビュー 及び 授賞に関して

ルーマニアとの 契約で 国立シンフォニーオーケストラ ティグルス

ムーレスでの D. カバレフスキー, W.A. モーツァート 及び  
G.ビョッティの 作品の ソロ演奏

4月 15歳時 フランスで 初めて 長期に渡っての J.S. バッハ, L. ベートーベン,

F. クライスラー, M. ラベル, P. サラサーテ, I. ディニス, 及び N. パガニーニの  
作品のソロ演奏

1983年 8月 バーデンバーデンにて 開催された 世界音楽祭で ルチェロ リッチの バイオリ  
ンコンクールでの 奨励賞受賞  
合格賞授与

1984年 1月 カストロプ-ラウクセルにてフンガリカフィルハーモニーで

バイオリン-コンチェルト, M. ブルッフの ト短調 演奏

1984年 9月 ルーマニアの ブカレスト市 スセアバにて ビッグ-ナショナル- フェスティバル

国内青年コンクールで ジョウヂ エネスキュー チプリアン, ポルムベスキュー演奏で 初合格

9月 ケルンの 西ドイツ ラジオ放送局にて F. クライスラー, P. De サラサーテ, I. ディニキ  
ュー,

ディミトレスキュー 及び N. 一の作品, “コンツェルタント プリリアント “  
シリーズ演奏

☆サジョルジ ショルティからの招待演奏

ロンドンでの サジョルジ ショルティ による 招待で W.A.モーツアルト バイオリンコンチエルト, J. シベリウス, J.S. バッハ, C. フランク、P. チャイコフスキー, A. デュボラク N. パガニーニの ソナタの バイオリン独奏

・サジョルジ ソルティ との他の演奏

9 '86 シュツェットガルト

8 '87 フランクフルト

9 '88 ロンドン

4 '91 フランクフルト

7 '93 ハンブルグ

・1993年 7月 ハンブルグにて サジョルジュ ショルティに 芸術才能を認知をされ、個人的な支援と 経済援助も受け さらに より明確に 芸術の道の義務の専念従事 そして 洗練現実化

・1993年 8月 ベルリンにて ピアニストの ファジル セイと レシタルコンサートで共演

・84 — 85 スイス, フランス, フィンランド, ポルトガル, 及び デンマークでの 数々なる オーケストラ団での 演奏

・1986年 5月 ベルリンで 小沢征二の指揮にて W.A. モーツアルト, J.S. バッハ, C. フランク独奏

・及び H. ビエンラフスキーの 作品のソロ演奏



・10月 ハーゲンで M.アッツマンの指揮にてコンサートで M. ブルッフの バイオリンコンチエルトト短調を演奏

・10月 ベルリンの シャロテンブルグ城にて アメリカの コンピューター企業 IBM コーポレーション主催の 75年創立記念祝賀祭で 1987年 11月 当時の ドイツ首相 及び ベルリンの 市長 E.ディープケン氏の聴衆在席内 J.S. バッハの 作品 バイオリンソナタ “ゼックスパーティテン” を独奏

・1987年 8月 ラインベック 及び シルトにての シュレースベック-ホルシュタイン-ミュージックフェスティバルでの 3度のソロコンサート

・1987年 9月 ベルリンに於いて J. ブラームス, H. ビエンラフスキー 及び C. フランクのソナタを 小沢征二指揮で演奏

・11月 デンマークにて J フォースト指揮による H. ビエンラフスキーの 第1へ短調を ゾンダー リーランド

・ベストファーレン- シンフォニー-オーケストラ演奏

・1989年 9月 当時の指揮者D. シャロンによる デュッセルドルフ シンフォニー キヤーンで シンフォニー オーケストラでの演奏

・1987年 9月 デュッセルドルフでの アネソフィー-ムッター バイオリンコンサートで J.S. バッハ, S. プロコフエフ, J. ブラームス, N. パガニーニ 及び E. イザイのソナタを演奏

・1988年 8月 デンマークとドイツでは 数多くの都市に渡り ゾンダーリーランド シンフォニーオーケストラにて演奏旅行参加で H. ビエンラフスキーバイオリンコンチエルト第1番を演奏

・1988年 9月 ドイツでの フランツ ランプレヒトの指揮の下で 3回に渉り L. フォン ベートーベン 及び P. チャイコフスキーのバイオリンコンチエルトを演奏 ハンガリー フィルハーモニー共演

☆ロード イェフディ メニューヒンからの招待演奏

・1989年 9月 10月 ボルムス, マイン ルートビッヒハーフェン , 及び フランクフルトでの旧オペラにて ロード イェフディ メニューヒンの指揮での モーツアルトバイオリンコンチェルト 第3番 G-dur を 演奏 及びラインランド-プアルツ 国立フィルハーモニーの楽団ツアーで5回演奏

・1989年 7月 デュッセルドルフにてJ.シベリウス バイオリンコンチェルト, E.イザイのソナタ及び A. ビバルディの作品をギドン クレーメルに演奏

・1988年 8月 W. チレッセンの 指揮にてM. ラベルの チガン - コンサートの ラプソディ及びA. ビバルディの作品を演奏

・1989年 3月 デュッセルドルフでの トーンホールにて F. ランプレヒト指揮にてフンガリカーフィルハーモニーで W. A. モーツアルトのバイオリンコンチェルト第3番 G-dur を演奏

・ 1990年 7月 レックリングハウゼンにて バイオリンとピアノの共奏 ライナークラスス氏ドイツの初施行

・父エルネスト と共にショーソンの弦楽四重奏 第3番ニ短調 op. 21を演奏, (アルトスクワテット)

・1991年 8月 香港のカルーンで 開催された サマーミュージックフェスティバルにて サラサーテの チゴイネルワイゼンと セイント-セインのハワイアンを 大国立スロバキア ラジオシンフォニー オーケストラとブラツラバ・コチス指揮にてソロ演奏

・香港ラジオ ホールでの ソロ コンサート を二度 グレイト コンサート ラジオ放送収録

・1992年 9月 デュッセルドルフの トーンホール 及び スロバキアの マリエンバード, にて F. ランプレヒトの 指揮下 西ピョヨーミシッェンシンフォニー オーケストラにて A. ドウブラクのOP. 53の バイオリンコンチェルト演奏

・1993年 10月 1992年の夏季 ないし 1993年の10月に渡り デュッセルドルフにて ブルックナーの交響曲ホ長調及び シュウマン (春の シンフォニー) を ロベルト シューマン音楽大学での 第一コンサート マスターとして 数度のシンフォニー コンサート

・3月 ハーゲンでの シュッタットホールにて ゲーハード マークソンの指揮にて

A. ドウブロクの バイオリンコンチェルト ロ短調を ハーゲン シンフォニー キヤーンでの演奏

・1994年 8月 20日 ベルリンでの ラジオ放送局 プラスにて マックス フォン シリングスとの ソロの CD 収録により雑誌音楽芸術での 個人履歴紹介

・1994年 12月 6日 マールでの フルズにて 大化学企業開催の フルズ-GAF 化学での 数多くの 有名人 (IBM 社長 及び BASF 重要役員) の コンサートオーケストラにてコンサートマスター任務

・夏期 北東ドイツ フィルハーモニー (現在の プロイシッシュ カンマー オーケストラ) にて JS. バッハの バイオリンソナタホ長調を演奏

・1995年 12月 ポルトガル リサボンでの デュボラクの バイオリンコンチェルト Op53 ロ短調を ジョージ フルスト 指揮で ポルトガル シンフォニー オーケストラにて演奏

・秋期 デトモルトにて父エルネスト創設の カンマーオーケストラでの 第2コンサートマスター任務

・12月 31日 W. A. モーツアルトの バイオリンコンチェルト第5番 ロ短調を ランプレヒト指揮でフンガリカーフィルハーモニーにて独奏演奏

・3月 4日 ノイエス 及び その近郊での アメリカ ファーマーレーゼン-プリストル-マイヤー

・2月 1日 SQUIBB FDP党 開催コンサート

・10月 フィンランドにて パガニーニのバイオリンコンチェルト 第5番 ロ短調, 及び パルピテイ-バイブレーションをポール シンフォニーオーケストラで独奏演奏

・4月 ツビッカオにて ブラウン シンフォニー オーケストラでの GMD ボーム指揮下でマックス ブルッフ バイオリンコンチェルトを3度の コンサート, 批評を 同封

・4月 20日 コェチェン城の大鏡広間での F. クライスラー, P. サラサーテ 及び パガニーニの変奏曲を 功練なる ギター伴奏で バイオリンと共演

・6月 29日 マール市にて ユタ ハイニリッヒ市長, 工業代表として Prof. Dr. フーペ氏

r. メンツェル 及び 他の マール市役所代表有名人 出席での フリッツ クライスラー  
及び パブロ de サラサーテの 作品演奏

・2003年 11月 20日 フィンランドの国際行事で ロシアの 指揮者 デイミトリ スロボヂニエ  
ックによる ベートーベン, クライスラー, タルティーニ 及び パガニーニ最後の 作品 “ラ  
リマベラ” を ポールのポール シンフォニーにて独奏

・10月 28日 ルーマニアの ジーベンビューゲン にて 国立フィルハーモニー ニューマーケット  
ミエルシュでの マックス ブルッフのバイオリンコンチェルト第1番ト短調の演奏のコンサ  
ートでは 国立ラジオ放送、テレビ放送 さらに 新聞報道でも 大反響

※現在に至るまでの 奨学援助, 奨励 及び スポンサー

・1987年 12月 ドイツでの学生援助授受

・1997年 3月 マールの GAF-GHE-フルズ企業を 通じ Dr. F. クールマン 及び  
1998年 ボンでの 夏 Prof. Dr. フーペ と Dr. ザーゲでの フルズ献金会による個人援助

・2001年—2003年 初期 ドイツにて アメリカの 化学企業 ブリストル-マイヤー SQUIB  
B化学の 協カスポンサー CD・レコード収録

・1990年 4月 香港にての HNH インターナショナル 有限会社 マルコ ポーロ 及び スロバ  
キアでの コシスにて 当時の チェコスロバキアで Prof. アルフレッド ワルター指揮の 国立  
シンフォニー オーケストラにて  
マックス フォン シリング のバイオリンコンチェルト op 25 ト短調CD収録, 同会社での  
その後の プロジェクト 及び 契約

・1992年 1月 ルーマニア : ルーマニアでの 最大レコード会社 “エレクト レコード” に 於  
いて A. デュボラクのバイオリンコンチェルト op 53を 国立フィルハーモニー ティグル  
ムーレスとの バイオリンコンサートの 数々の ラジオ放送収録 及び ショーソンの “ポエム”  
を ミエレスでの ニューマーケットにての ライフ中継 さらに アントン デュボラク 及び マッ  
クス フォン シリングスの バイオリン コンサート

・1993年 夏季 ロンドン : マックス フォン シリングのバイオリンコンチェルト op 25 で

の トップテン ヒット リストでの 8位到達により クラシックの英国音楽雑誌 “グラモフォン” に表示 (ビバルディの “四季” のナイゲル ケネディによる収録)

・1999年2月 スロバキア : Prof. ミハヤエル ディートリッヒの指揮にてブラティスラの 大国立スロバキア ラジオ放送シンフォニー オーケストラでの ニコロ パガニーニのバイオリンコンチェルト 第3番 及び 第4番を CD 収録

・2005年 秋季 フィンランド : アリー ラジライネン指揮下で フィンランド ポーリ シンフォニーオーケストラでイザイ及び パガニーニの作品を演奏

・2006年6月 中国マカオ マカオ交響楽団にてゲストコンサートマスターとして任務

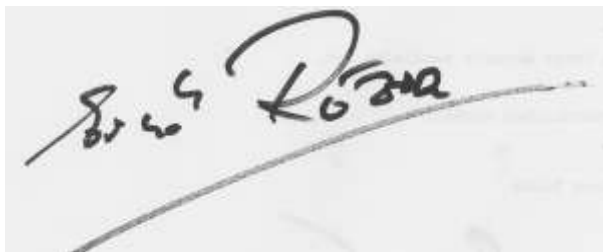
・梅田クラシックサロン セントアベンヌにて毎月演奏

E-mail : [rozsavirtuoso@yahoo.de](mailto:rozsavirtuoso@yahoo.de)

氏名 : エルノ ローザ

職業 : バイオリニスト

Ernoe Rozsa



Telephone Japan:

0081-90-50598408

0081-90-85244064

Fax Japan: 0787-938221

Email: [paganini888@docomo.ne.jp](mailto:paganini888@docomo.ne.jp)

Internet-Email: [rozsavirtuoso@yahoo.de](mailto:rozsavirtuoso@yahoo.de)

**[www.ernoer-rosza.com](http://www.ernoer-rosza.com)**